

凍結による破損の予防及び 長期間使わないときの処置

凍結が予想されるとき

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ室内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。
凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。
製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

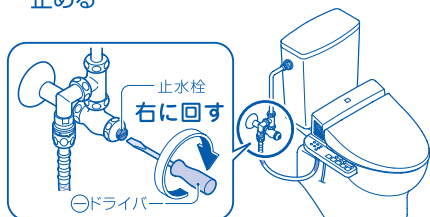
アドバイス

節電はしないでください。
凍結により製品が破損することがあります。
タイマー節電をやめるときは 26 ページ
おまかせ節電をやめるときは 26 ページ

水抜きのしかた

① ロータンクの水を抜く

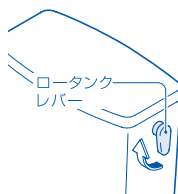
① 止水栓を⊖ドライバーで閉めて、給水を止める



② ロータンクレバーを大洗浄側に回し、ロータンクの水を抜く

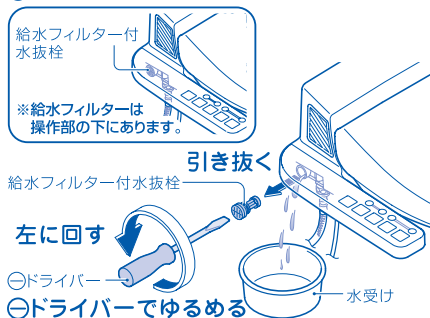
アドバイス

ロータンクの水が流れ出してしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。



② 配管の水を抜く

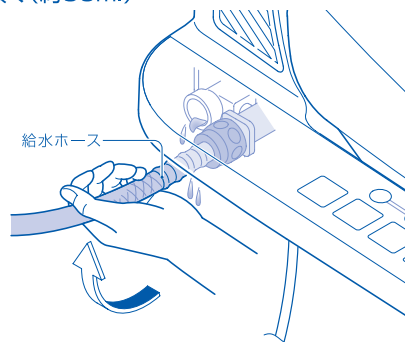
① 操作部のノズルを押す
(製品内部の残水を抜きます。)
② 給水フィルター付水抜き栓をはずす



注意

止水栓を開けたまま、給水フィルター付水抜き栓をはずさない
水が噴き出します。

③ 給水ホースを水平にして、ホース内の水を抜く(約30ml)



④ もう一度、ノズルを押す
(ノズルを元に戻します。)

⑤ 給水フィルター付水抜き栓を取り付ける



注意

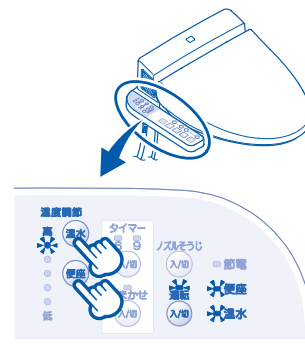
給水フィルター付水抜き栓は
確実に締める
確実に締めないで水漏れ
の原因になります。



③ ウォシュレット内を保温する

操作部の「運転」ランプが点灯していることを確認し、温水・便座温度設定を「高」にする

※凍結予防の作業後には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。



長期間使わないときの処置

長期間使用しないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。
また、製品が凍結するおそれがありますので、水抜きを行ってください。

アドバイス

【水抜きをしましょう!】
・冬季に帰省されるとき
・別荘などで使用されるとき
・冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。
凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

水抜きのしかた

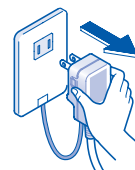
① ロータンクの水を抜く

26 ページ

② 配管の水を抜く

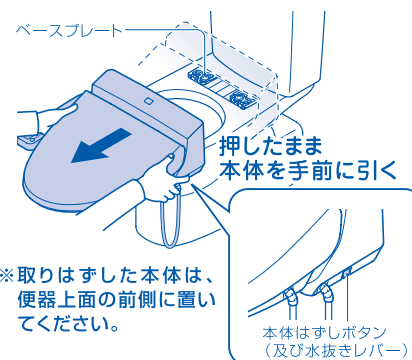
26 ページ

③ 電源プラグを抜く



④ 本体を取りはずす

本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、本体を手前に引いてください。



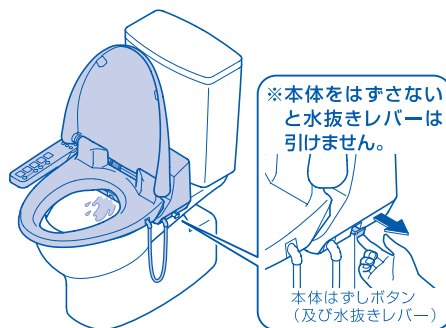
※取りはずした本体は、便器上面の前側に置いてください。

本体はずしボタン
(及び水抜きレバー)



⑤ 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引いて本体内の水を抜く

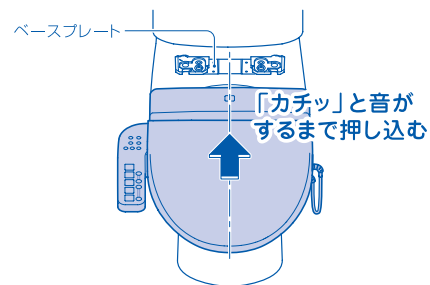
ノズルの横から水が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。



⑥ 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を戻す

⑦ 本体を取り付ける

- ① 本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
 - ② 便器面に本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
- ※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



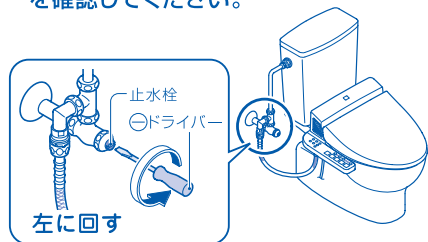
⑧ 便器に不凍液を入れる

水抜き後に再通水するとき

① 止水栓を開ける

止水栓を○ドライバーで開けてください。

※配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。



② 電源プラグをコンセントに差し込む

③ ノズルから吐水させる

着座センサーを白紙でおおい を押してノズルから約2分間吐水させてください。

（ノズルから吐水するまでは約1分かかります。）
（吐水は紙コップなどで受けてください。）

アドバイス

残水が凍結して水が出ないときは、トイレ内をあたたため、お湯に浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

こんなときは

故障かな?!と思ったら

故障かな?!と思ったらまずこの章をご覧ください。処置方法をためてみてください。

それでも直らないときは、お取付店、販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご相談ください。

**安心・信頼の
TOTOメンテナンス(株) 修理受付センター**

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎ **0120-1010-05**

FAX ☎ **0120-1010-02**

受付：年中無休／受付時間 8:00～19:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間／9:00～18:00
※携帯電話（PHSは除く）からのご利用は ☎ **0570-05-1010** (有料)へ

⚠ 注意

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

必ず守る

止水栓

右に回す

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

全機能		
現象	確認（原因）	処置
全く動かない	停電したりブレーカが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。 ㊧ 23ページ
	操作部のすべてのランプが消灯していませんか。	操作部の を押してください。 ㊧ 9ページ
	本体がベースプレートからはずれていませんか。	本体を一度ははずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。 ㊧ 23ページ

おしり洗浄・ビデ洗浄		
現象	確認（原因）	処置
洗浄水が出ない	断水していませんか。	を押し、断水が解除するまでお待ちください。
	止水栓が閉まっていますか。	止水栓を開けてください。 ㊧ 9ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊧ 31ページ
洗浄水勢が弱い	水勢の設定が弱くなっていませんか。	操作部の「水勢調節」スイッチの を押してください。 ㊧ 10ページ
	給水フィルターが詰まっていますか。	給水フィルターを掃除してください。 ㊧ 25ページ
洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	温水温度の設定を「入」または「高」にしてください。 ㊧ 12ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座ってから約10分お待ちください。 ㊧ 17ページ
洗浄水が途中で止まった	または を押してから約5分後に自動で止まります。	もう一度 または を押してください。 ㊧ 10ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊧ 31ページ

凍結による破損の予防及び
長期間使わないときの処置／故障かな?!と思ったら

